

## 今年度の学校評価のまとめ

大変、お忙しい中にもかかわらず本校の学校評価アンケートに回答いただきありがとうございました。得られた貴重な意見をもとに話し合いの場を設け、今後の海老沼小学校の教育活動がよりよくなっていくように、教職員一同で取り組んでいきます。

各項目ごとの集計結果とまとめをお知らせいたしますので、ぜひご覧ください。

### 児童の評価から

日頃から良好な友人関係を築きつつ、家族を大切にし、いじめや差別なく過ごしていると答えた児童の割合が昨年度よりも多くなりました。また、安全に対する意識が高く、ケガが事故がないように気をつけて過ごしていると回答している児童が多かったです。

学習に対する意識、ICT機器の活用に対する有用性を見出し切れていない児童が一定数おり、勉強に関する設問で肯定的でない意見が見られました。次年度以降も基礎学力の定着を図るとともに、学校課題研究をもとにさらなる取組や環境整備に努めていきます。

### 保護者・地域の方の評価から

全体的に昨年度と同等か、概ね90%を超えて前年度を上回る肯定的評価をいただきました。特に、体力向上や安全・保健指導などに関する設問に対する肯定的評価は前年度とほぼ同程度の高水準でした。

保護者・地域のみなさまから日頃のきめ細やかな指導や行事を含めた教育活動への取組、労いの言葉を頂戴できました。何気ない声かけ、態度が児童や保護者の方により方向へ影響があることを感じる事ができました。また、保護者同士の中でも、参観・懇談会時などのマナーの向上を願う気持ちが見られるようでした。

ルールやマナーの意識向上、いじめ撲滅の取組の成果、適切な保護者・地域の方々への対応に関する設問では「まったく思わない」の割合が減り、改善が見られました。

ただ、宿題の取り組み方や持ち物(タブレット)などの学校のルールに関する悩みが多く寄せられました。さらに、各学校行事には「働き方」を見直し、円滑かつコンパクトでよかったという意見もある反面、コロナ禍以前のような規模の行事を復活させてほしいという声も引き続き上がっていました。

### 3者を比較して

教職員は生徒指導、教育相談、情報の開示、地域への関わりの項目が100%肯定的評価に対して、児童、保護者・地域の方の回答は必ずしも高評価とは限らなく、意識の乖離が見られました。

児童の悩みやトラブルへの対応の仕方については、教職員や児童では肯定的評価の割合が高いが、保護者・地域の方からすると、実感を伴えるきめ細やかさと丁寧な個別の対応が今後必要であることがわかりました。

保護者、地域の方からは体力向上や体育的行事の面で高い評価をいただいているものの、児童の中には、実感を得られていない、または十分でないと判断している様子が見られました。

これからも、安心・安全に児童が通うことのできる海老沼小学校を目指して、取り組んでまいります。これからも本校の教育活動にご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。